

# 救急医療崩壊

## ・社会的要因

急速な高齢化、核家族化、単身世帯増加、救急患者の急増

## ・救急患者の要因

- ・安易な受診(コンビニ受診)
- ・大病院指向による救急患者の集中化
- ・専門治療に対する過度の要求
- ・不適切な権利意識
- ・医療訴訟の増加
- ・無責任な医療報道

## ・医療機関の要因

- ・救急医療の疲弊、縮小化
- ・救急医療の人材確保が困難
- ・重労働(3K)
- ・医療訴訟のリスク
- ・経営上のメリットが少ない
- ・社会的評価が低い

# 傷病者の搬送及び受入れに係る調査分析の方法について

## 救急搬送における医療機関の受入状況(重症以上傷病者)

医療機関への照会回数4回以上の事案が14,732件(全体の3.6%)あり、現場滞在時間30分以上の事案が16,980件(4.1%)ある。

医療機関に受入の照会を行った回数ごとの件数

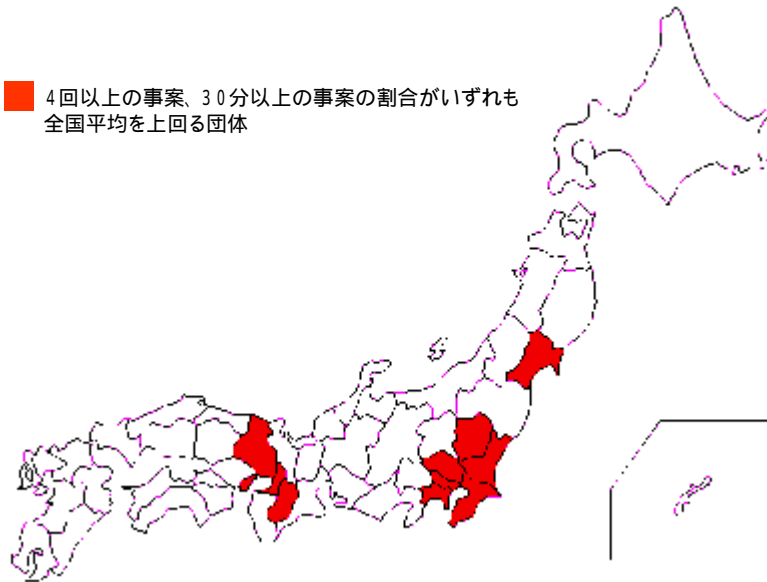
		1回	2~3回	4~5回	6~10回	11回~	計	4回以上	6回以上	11回以上	最大照会回数
重症以上傷病者	件数	344,778	49,680	9,594	4,235	903	409,190	14,732	5,138	903	49
	割合	84.3%	12.1%	2.3%	1.0%	0.2%	100%	3.6%	1.3%	0.2%	

現場滞在時間(現場到着から現場出発までの時間)区分ごとの件数

		15分未満	15分以上30分未満	30分以上45分未満	45分以上60分未満	60分以上120分未満	120分以上	計	30分以上	45分以上	60分以上
重症以上傷病者	件数	257,503	135,481	12,540	2,777	1,503	160	409,964	16,980	4,440	1,663
	割合	62.8%	33.0%	3.1%	0.7%	0.4%	0.04%	100%	4.1%	1.1%	0.4%

首都圏、近畿圏等の大都市部において、照会回数の多い事案の比率が高い。

4回以上の事案、30分以上の事案の割合がいずれも全国平均を上回る団体



都道府県	4回以上	30分以上
宮城県	5.8%	6.4%
茨城県	5.1%	5.6%
栃木県	5.0%	4.5%
埼玉県	8.7%	12.5%
千葉県	6.2%	9.1%
東京都	9.4%	9.3%
神奈川県	4.1%	6.9%
大阪府	8.2%	4.7%
兵庫県	6.2%	5.1%
奈良県	12.5%	8.4%
全国平均	3.6%	4.1%